

科目名		設計計画			
担当教員		遠藤 聡		実務授業の有無	有
対象学科	測量建設科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	設計計画は、応用力学を基本に力学計算を中心に学習する。基本的項目として、断面一次B・二次モーメント、断面の力学的特徴を学習する。その後、断面の面的計算、梁、柱の基本的計算を実施して習得する。				
学習目標 (到達目標)	2級土木施工管理技士検定合格のための基礎知識の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	土木施工管理テキスト、配布資料				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	土木構造物の概要		断面一次モーメントによる構造物断面の図心の位置を求める。基本例題を解説して課題を個々に回答する		
2	断面一次モーメント		断面一次モーメントによる構造物断面の図心の位置を求める。基本例題を解説して課題を個々に回答する		
3	断面二次モーメント		断面二次モーメントによる構造物断面の特性を求める。基本例題を解説して課題を個々に回答する。結果100%を目標とする。		
4	断面係数、断面二次半径、核点		断面係数、断面二次半径等による構造物断面の特性を求める。基本例題を解説して課題を個々に回答する。結果100%を目標とする。		
5	(単鉄筋長方形梁) 引張鉄筋比		土木構造物とは何かを解説。解説後、口頭質問形式で習得状況の確認を行う。習得状況100%を目指す。		
6	(単鉄筋長方形梁) 中立軸X		中立軸といわれるものの意味を解説。解説後、例題形式で習得状況の確認を行う。習得状況100%を目指す。		
7	(単鉄筋長方形梁) 抵抗モーメントの計算		抵抗モーメントといわれるものの意味を解説。解説後、例題形式で習得状況の確認を行う。習得状況100%を目指す。		
8	(単鉄筋長方形梁) 付着応力度の計算		中立軸といわれるものの意味を解説。解説後、例題形式で習得状況の確認を行う。習得状況100%を目指す。		
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	中間試験	期末試験	確実に習得するために、演習課題を出題して解答説明を行い、目標80%合格をすること。	
α %	α %	50 %	50 %		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建設会社にて施工管理実務経験 15年			